

がん病態栄養専門管理栄養士 実地修練研修項目および確認シート研修生・指導者用

300時間の研修内容と研修に要する時間を示します。

ご参考、ご指導ください。

研修項目	主な研修内容	実施☑	研修目安時間 (時間)
栄養アセスメント・ 栄養診断に基づいた 栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者における栄養ケアプロセス ・情報収集（問診・カルテ・食事摂取） ・栄養スクリーニングとアセスメント ・栄養診断 ・栄養介入 栄養管理計画の作成（食事，経腸栄養，静脈栄養）実施 ・栄養モニタリングと再評価 ・総合評価 	<input type="checkbox"/>	40
フードサービス マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者の病態にあわせた食事の調整（献立、調理） ・食事提供サービスシステムのマネジメント 	<input type="checkbox"/>	40
個人栄養指導の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・患者・家族への支援 ・術前後患者への食事指導 ・がん化学療法・放射線療法患者への食事指導 ・終末期患者への食事支援 	<input type="checkbox"/>	16
症状と栄養管理	症状マネジメントの実際 <ul style="list-style-type: none"> ・各症状と栄養アセスメント ・適切な栄養・食事療法の提案と実施 ・適切な指標を用いたモニタリングと再評価 <症状> <ol style="list-style-type: none"> 1) 食欲低下・食欲亢進 2) 浮腫 3) 口渇 4) 便秘 5) ステロイドの副作用 6) 食事療法のストレス 7) 嚥下障害 8) その他 	<input type="checkbox"/>	48
がん臨床検査の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・がん診療で行われる臨床検査の概要の理解 	<input type="checkbox"/>	8
術前・術後の栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> ・術前の栄養管理と栄養教育 ・術後の栄養管理と栄養教育 	<input type="checkbox"/>	16
がん放射線療法 の栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> ・がん放射線療法 ・消化吸収機能への影響 ・放射線治療による有害事象に対する栄養・食事療法 ・終末期患者への支援 	<input type="checkbox"/>	16
がん化学療法時 の栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> ・化学療法の種類 ・支持療法 ・治療レジメンの確認と予測される副作用（有害事象）と栄養食事療法 ・化学療法時に起こりうる栄養障害とその対策 	<input type="checkbox"/>	16
がん患者に用いられる 薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ・がん治療で用いられる薬剤の種類と薬剤による食事への影響 	<input type="checkbox"/>	12
がん患者におこる心の動 きと食事	<ul style="list-style-type: none"> ・患者家族のこころの動きと栄養管理 ・適切なコミュニケーションスキル 	<input type="checkbox"/>	16
地域医療連携の取り組 み、在宅支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域（他施設、在宅）での栄養管理（支援）の在り方 ・地域における栄養連携の実際（多(他)職種間での調整） ・栄養情報提供書の活用 	<input type="checkbox"/>	16
チームアプローチの 実際と管理栄養士の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・チームカンファレンスへの参加：情報提供と栄養記録 ・チームディスカッションへの主体的参加 ・食事療法についての提言やアドバイス 	<input type="checkbox"/>	8
栄養マネジメントとリー ダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養マネジメントの企画運営 ・スタッフへの指導 	<input type="checkbox"/>	8
症例検討の手法	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討（分析手法）の手法 ・プレゼンテーション 	<input type="checkbox"/>	40
実地修練施設における実地修練時間			300
自施設における実地修練時間 (実地修練施設における実施修練内容に準拠し、自施設内で700時間、がん患者のケアにあたること)			700
実地修練の合計時間			1000